

保育計画成果報告書

設置者名	二本松市
施設名	二本松市立いわしろさくらこども園
報告者（職名）	園長 高橋 弘子
住所・連絡先	〒964-0304 福島県二本松市西新殿字永作10番地 TEL0243-57-2709 Fax0243-57-2723 E メールアドレス iwasa.sakura.cg.encho@city.nihonmatsu.lg.jp

○タイトル（保育計画）

砂遊びって楽しいね！！

○主な助成備品

ユニット砂場 大型砂場カバー

1. 実施した保育計画策定の目的

平成23年3月に発生した、東日本大震災による原発事故にともない、戸外での遊びが制限され、室内遊びが中心となった保育活動を行っていました。昨年までは、1日1時間程度の制限でした。平成26年度より2園1保育所が統合され幼保連携型認定こども園となり、新しい園舎、新しい園庭、新しい固定遊具等となり、こどもたちが安全で安心して思い切り戸外遊びや砂遊びなど、自然に触れる活動ができるようになってほしい。そんな願いを込めて砂場を整備したいと考えました。

また、本園の教育目標「自ら、人や環境にかかわりながら自分の力を十分に発揮できる子どもの育成」をもとに、土・砂・水・太陽・風・草・花など自然と触れ合いながら、ひとりでも友だちと一緒に、全身を使って・五感を使って、つくる・こわす・協力する・競争する「遊びの」楽しさを知らせ、創造性を育み、好奇心旺盛で自分の持っている力を十分に発揮できる子どもの育成に努めていきたいと考えました。



2. 具体的な実施内容

年齢に応じ砂遊びができるよう、0・1・2歳児用の砂場、3・4・5歳児用の砂場を分けて設置しました。



0・1・2歳児の保育室の近くに
小さい砂場を設置しました。
(大きい子どもたちに邪魔されないで、未満児が
ゆったりとかかわれるようにと考えました。)

3・4・5歳児の保育室前に大きな
砂場を設置しました。
(ダイナミックに遊べるように
と考えました。)



大きな砂場がなかった時は、園庭の隅に
レンガで小さい枠を作り、砂にも気を使い
県外産の砂を購入し、手で砂の感触を知る、
というような砂遊びしかできませんでした。
それでも、子どもたちは喜んでいました。



砂場が設置されると、年齢に応じた砂遊びが
できるようになりました。左の写真は、未満児
の砂遊びの様子です。砂場の砂をタライに取り
出して砂の感触を全身で楽しんでいるところ
です。

3歳児・4歳児・5歳児は、1人で砂の感触を楽しんだり、友だちと一緒に大型シャベルや水を使って、大きな山や池・トンネルや川を作りダイナミックに遊んだりすることができるようになりました。東日本大震災以降4年ぶりに子ども達が笑顔で砂遊びをする姿をみて感動しました。



3. その成果と評価

砂場が無くて、簡易的にレンガで作った砂場で、砂に触れることで子ども達は、砂の感触を楽しみ、心の安定を図ってきたのだと思いますが、本格的な砂場を設置することで一人でも、また、友だちと一緒に遊ぶ楽しさ、4・5歳児には、友だちと協力して遊ぶ楽しさ、同じ目的（イメージ）をもって遊ぶ楽しさを知り、活動の幅を広げることができました。また、砂場で、五感を通し砂の感触を味わい心の安定を図る（解放感・安心感）ことができました。

4. 今後の課題

東日本大震災以降、放射線量に振り回され、戸外での活動が制限されたり、自然とのふれあい活動、自然物を使った遊び等が規制されたりしてきました。また、子ども達や保護者に対して情報を提供し、同意を経て活動に取り組んできました。これからも、放射線に気しながら、砂遊びや、自然に触れる活動を通して創造性を育み、好奇心旺盛で自分の持っている力を十分に発揮できる子どもの育成に努めていきたいです。 以上